

石蛤（濱一所ニ有、太師封給故ニ、蛤） 忘貝（蛤ノナリニテ、紋アリニ

魚島鰐鱈 小豆島煎海鼠 引田海鼠腸

八島平家蟹 志渡浦濱松（砂ニ生草也、料理ニ用之、

度

〔全讀史產物〕海鼠腸引田浦 海膽引田浦

津田松原より 海松布志度 濱松志度 鐵錚志度

釜師（良工也、世にいわゆる蘆屋）鍋釜同上

津田穗蓼 同鰐寒川郡津田 神前新米寛永十九年

前村の庄屋菜新米を邦君へ 獻す、是ヨリ今に例となる

幡羅大根三木郡原

鹿庭大竹の竹ありと云、工人用ひて甚よし

と、女井間男井間の鯉魚 濁元鹽山田郡濁元也、凡テ是

作中ニ絶タリ、慶長圓座人有しが、是も慶長年中ニ絶タリ、八十場の清水阿野天皇ニあり、

瀬島の金山鯛 鱈阿野北の鱈子の唐墨是も瀬島

度の米山田 宇多津の鋸鶴足郡宇多津工人ノ鋸ひ

吉岡の甕土器村吉岡甕燒師多し弘法

り、金昆羅の寒飴生姜那加郡金昆羅の土産物

瀧宮の白梅糕綾南瀧宮の産物也、菅神

乃生煙草生村阿野の牛川牛房牛川村敏

のを以て筆と云、白峯の磬石此石の音響、天

下無雙也と云、

〔讀岐國總村高帳〕寛永拾六年卯三月朔日極リ帳奥書ニ

一侍數三百二十七人（但百石取以上）一國中人數拾五万九十三人内

男七万四千四百十二人

〔官中秘策〕讀岐國十一郡○中

一人數三拾五万七千三百貳拾六人 内拾六万七千三百六拾壹（壹恐六誤）人

男女

〔吹塵錄〕五（文化元甲子年）人及國高諸國人數調○中

内拾八万六千三百九拾四石餘

讀岐國

御料私領 内貳拾壹万五百八拾七人 弘化丙午年 諸國人數調○中

内貳拾壹万五百八拾三人 男女

高貳拾九万三千三百貳拾石餘